

第三回定例会



上程時質疑

第3回定例会では前年度の決算の審査を行う。定例会初日、以下3点について市長に質問。

1. 2022年度決算の評価と2024年度予算編成の市民生活支援は？
2. 基金について
(1)公共施設整備基金の積立目標額は当初予算で確保すべき
(2)財政調整基金（市の貯金）は財政規律指標の10億円超。ストック目標額見直しへの見解は。

2022年度一般会計決算に反対



新型コロナによる影響を引きずりつつ、物価高騰の波が市民生活を圧迫した2022年度。2021年度に引き続き、市税収入の減のほか、交付金や譲与税も財政フレームを下回るとの市長の見込みに基づいて予算が立てられたが、国の地方税収入は過去最高、調布市においても歳入が増え、46億円を超える繰越金が出た。背景には、市民税や固定資産税、また物価高ともなう消費税負担の増などがある。今必要な生活支援を把握し、市民の血税を活用したかが問われた。

財政面では、基金のあり方や扱いの問題点を指摘。2年連続で出た大きな繰越金を基金に積み増しし、使うあてがないからと有価証券で一括運用する計画があるが、これからのまちの将来を担う子どもや若者への支援にもっと力を入れるべきである。調布市でもコロナ以前の調査で相対的貧困率は小学5年生17.9%、中学2年生19.4%、16～17歳22.1%。近年の社会情勢の影響で格差は拡大している。市は子ども条例で「子どもは調布の宝」と言っているが、長期休みに十分食事が取れない子どもへの食の保障や、教育機関につながらない不登校の子どもの学びや居場所の確保への取組みは不十分だと判断した。

総務委員会

◇公共工事平準化は、繰越金を活用し繰越明許費を設定しているが、国交省は当初予算化、ゼロ債務負担行為を認めていることについて。◇自衛官募集事務において宛名シールを使用した個人情報提供はするべきではない。市HPでの情報提供の他、希望者には提供対象から除外する対応を。◇参加と協働のまちづくりアドバイザーは市民参画を発展させるためにもっと活用を。◇新公会計制度の活用では、財務4表の公表時期の前倒しを。◇市報では決定事項だけでなく、計画などの進捗状況を伝え、市民間の議論の活性化への活用を。LINEの活用で市民参加機会の情報提供を。◇会計年度任用の保育士と司書の時給は最低賃金以上であることを確認。◇個人情報漏洩

問題後に取り組んだ電子メールの扱いに関するルールの運用状況を確認。

2023年度補正予算第3号に賛成



主な内容

- 繰越金各基金への積立て
財政調整基金に4億円余・公共施設整備基金に9.5億円余など
- PFASに関する井戸水の水質検査 1735万円余
防災井戸29ヶ所・湧水1ヶ所 計30ヶ所（2月末公表）
災害時協力井戸43ヶ所を含む民間井戸 計85ヶ所（希望者のみ）
- 深大寺・佐須地域の用地取得（田・竹林）3億8000万円余（内2億5000万円余は都補助金）
- 公共施設・公有地内のがけ・擁壁（2m以上）健全度調査 825万円
- 深大寺老人憩の家解体費 5400万円余

主な条例改正

- 調布市子ども・若者基金条例の一部改正
- 井上欣一社会福祉事業基金条例の一部改正
いずれも有価証券による基金の運用を可能にするための条文を追加。利率が下がっているため、有価証券での運用を可能にすることには賛成。ただし趣旨や目的が異なる複数の基金の一括運用については、基金のあり方やリスク管理など明確化が優先されるべき。



◆陳情



陳情第9号 健康保険証を存続するよう、国に意見書提出を求める陳情（採択）



審査結果：採択

陳情第10号 家庭教育支援法を制定しないことを求める意見書についての陳情（採択）



審査結果：採択

陳情第11号 政府に対して福島第一原発のALPS処理水の海洋放出を止めることを求める意見書の提出についての陳情（採択）



審査結果：不採択

陳情第13号 総合福祉センターについて「検討会」による協議の継続を求める陳情（採択）



審査結果：不採択

第4回定例会は11月30日に開会します。陳情書の提出締め切りは11月27日の予定ですので、提出を検討される方は早めにご相談ください。